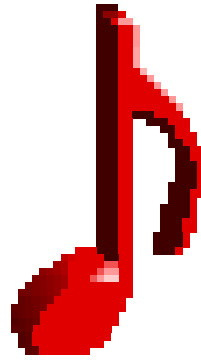


第3学年通信 No.13 (生徒の皆さん & 保護者の皆さまへ)

宮城県泉松陵高等学校33回生
2015/10/13 発行

http://www.shoryo.myswan.
文責 平山 元春



今回のゲストは

ミュージシャン **ナオト・インティライミ** さんです！

Catch the moment!! その瞬間を逃すな!!

ストレートかつ等身大の歌詞やメロディーで多くの人を惹きつけてやまないナオト・インティライミさん。数々のライブをこなし、昨年はNHKの紅白歌合戦に初出場。今春には初主演のロードムービー「旅歌ダイアリー」が公開されるなど、いま大注目のミュージシャンの一人です。

そんなナオトさんの進路ストーリーは、どこまでもまっすぐで人とのつながりや出会いを大切にしたいで満ちていました。

■ やんちゃなサッカー少年・ナオト

小さい頃はすり傷や切り傷が絶えない、実にやんちゃな子どもでした。ひと言で例えるなら「野猿」かな(笑)。木登りやカブトムシ取り、ザリガニ釣りが大好きで、朝から晩まで外で遊んでいました。もちろん体を動かすことが得意で、サッカー選手になるのが夢でした。歌は昔から大好きで、親戚のおじがギターを弾く姿を見て「カッコいいな」とおぼろげながら思っていました。中学2年生の時、サッカー仲間がギターを弾いているのを見て「俺もやりたい!」と、ギターを始めたのが、しっかりと音楽に目覚めたきっかけだったな。ギターを弾くようになって1カ月後にはもう曲を作っていました。

■ 先生の言葉で音楽の道へ

高校に入学してすぐに出会った担任の先生の言葉がいまでも忘れられません。二者面談で将来のことを聞かれ、「ずっとサッカーをやってきたけれど、音楽の道を進む夢が膨らんできている」と答えました。「音楽一筋で食べていくのは、雲をつかむような夢のまた夢の話ですよ」と。そう自信なげに話す私に、先生は言うてくれました。「そんなのは分からない、どんなに高く見えている壁でも、目の前に行ってみたら自動ドアかもしれないよ」と。

その言葉が胸にズドンと突き刺さり、「先生、俺音楽やります!!」と宣言しました。本気で音楽の世界を目指すことを決意したのは、そんな先生の後押しもあったからなんです。

■ 出合いを重ねた大学時代

高校卒業後は大学に進学しましたが、それは「大学はたくさんの人と出会うための場所」だと考えたから。

数え切れないくらい素敵な出合いを重ねてきたけれど、いまでも強く印象に残っているのは高校3年生の終わりくらいから千葉県の柏市で出会ったストリートライブでの仲間たち。ミュージシャン仲間の輪がどんどん広がって行って、柏市を巻き込むカタチで発展していき、ついには柏市が開催するイベントソングを任せられることになったんです。人と人が音楽を通してつながって、渦を巻いて、そしてより大きな輪ができ上がっていくのを実感しました。出合いの一つひとつが、新しい何かを生み出す貴重な経験でした。

また、大学では社会学を勉強しました。「自分の興味のあるものを掘り下げる」という社会学のスタンスは、私にとっても向いていました。

ジェンダー論や銃問題を学んだり、ホームレスの方にインタビューしたこともあり。社会学を通して身につけた「なぜそうなのか」と常に探ろうとする姿勢は、いまの創作活動にそのまま結びついている気がします。

■ ありのままの自分で人とぶつかる

大学在学中にデビューしましたが、うまくいかず「一度気持ちをフラットにしたい」と考え、世界中を放浪する旅に出ました。井の中の蛙のまままで終わりにたくない、気持ちを奮い立たせる強烈なパンチを受けたい、いままで知らなかった素敵な世界をたくさん見てみたい。そんな想いに駆られたんです。

よく旅で何を得たかと聞かれるんですが、逆に旅の中で余計なモノを捨ててきたように思うんです。「かっこよく見せたい」と、どこか虚勢を張っていたかつての自分の姿に気づき、人と心からつながるにはそれじゃあダメなんだと悟ったんです。よりシンプルな自分でコミュニケーションする中で生まれる素敵な一瞬一瞬を体験することで、それまでのスタンスが変わりました。ありのままに居続けよう、そう強く思ったんです。

私にとって、音楽は人とつながるための手段なんですね。もっと楽しい時間を共有したいから、知り合いたいからそこに音楽がある。音楽に対してもありのままの自分で向き合うようにしています。

■ “いまを生きる” 高校生にメッセージ

ケータイばかり見ている暇なんかない！君が下を向いている瞬間、周りでは素敵なことがたくさん起こっています。だから、高校生のころからさまざまなものを「キャッチ」したほうが良い！仮に大学生になって、すぐに就職活動が始まって、みんなと同じスーツを着て説明会に行っても、すぐに自分のやりたいことなんて分からないよね。“何となく”で将来を決めたらもったいないと思うんです。

いまこの瞬間から自分にきちんと向き合ってください。「何がしたいのか」「何ができるのか」を、高校時代から考えている人は強い。周りを見てみんながそうだから自分もそうするというんじゃないで、先にどんどん進んで準備して行ってください。いまずぐ答えが出なくても、意識することで将来のヒントをつかむことができるんじゃないかな。

なおと・いんていらいみ

三重県生まれ、千葉県育ち。世界一周29カ国を515日間かけて一人で渡り歩き、各地でLIVEを行い、世界の音楽と文化を体感。2010年4月、メジャーデビューシングル「カーニバル?」をリリース。その後、たび重なるヒットを放ち、2012年12月、紅白歌合戦に初出場。2013年4月には映画主演を初果たすなど、脚光を浴びる人気ミュージシャンの一人。

(『進路新聞』私の進路ストーリー第18号(平成25年4月30日発行)より)

2016（平成 28）年度大学入試センター試験日程

7月進研記述模試 各教科からのアドバイス等

（第2弾） ～もう一度問題を片手に、じっくりと読んで復習してください。
復習は極めて大切です！

⑫日本史B

今回の問題は、比較的やさしい基本的事項・頻出事項を聞いている設問がほとんどです。「〇〇字以内で述べよ」の設問については、何か書くこと。ただし、ここで得点しようとは思わないことです。

問題について、若干のアドバイスを述べます。しっかりと復習しておいてください。

1

問2 X 出ました！プリントNo.3「キタク・セッケン・キュウホカ」を思い出そう！
Y 荒神谷遺跡も有名になってきたので、写真も合わせてチェックしておいてください。P19

問4 c 正文。教科書にはないが、dが明らかな誤りなので消去法で判断できる。
ちなみに、cの内容は「一切衆生悉有仏性」といい、結構有名。倫理の教科書 p146をLOOK！

問7 Iは承久の乱1221（承久3）年だから、鎌倉時代。13C
IIは「守護請」、守護に年貢の徴収と納入を請け負わせる（全て任せる）こと、だから室町時代。14～15C。鎌倉時代に強いのは地頭だから、「地頭請」。室町時代は守護が強い。強いやつに全てを任せる。
III白河上皇の院政開始1086。11C。

2

問1 奈良時代の権力者の推移は重要。「ふなが4ひき、たなから鏡もち」
IIIの藤原宇合が藤原四子だということは少し細かいが、皆さんは多賀城設置の年は分かりますよね。「何？知らないの？」と言われなように！

問2 奈良時代の日本の親友は「渤海」。忘れてはいけません。

問8 奥州藤原氏については皆さんはしっかりと把握しておきましょう。p84

4

問7 IIは異国船打払令だと気付いてほしい。このあたりの、近世最後の時期の対外関係は重要。しっかりと復習！ p234～239

⑬政治・経済

今回出題された範囲のなかでは、「民主政治の歩みと人権保障」と「裁判所」の範囲が得点率が高く、「国際社会の変化」、特に「戦後日本政治の歩み」の得点率が低かった。

「戦後日本政治の歩み」の範囲は、教科書を深く読み込み、資料集等で理解を補強してなければ解答できないような問題がいくつか見られた。資料解釈（グラフを読み取るなど）の選択問題は、知識が無くとも選択肢の一つ一つを着実に検証すれば得点源とすることができるので、確実に得点してほしい。

センター試験と大学の個別試験、つまり選択問題か記述問題かという違いは非常に大きい。正誤問題では消去法で解答できる場合も出てくるが、記述問題では確かな理解が必要とされる。大学の個別試験は選択問題も出題されるが、記述問題にも対応できるようにしておこう。

⑭倫理

結果を見ると、全体的に知識の定着が不足していると思われる。昨年度のみ受講、しかも2単位だけの授業では、入試に対応するのは無理である。教科書の内容を繰り返し復習し、参考書、問題集等で弱点補強を行い、最後にセンターの赤本、予備校のセンター模試過去問を解くところまでやると良い。

今回の出題の難易度はそれほど高くないが、教科書にも載っていない用語が出ている。しかし、教科書をよく読み理解していれば、その用語を知らずとも解答できる設問もあるので、あわてず落ち着いて解答すると良い。現代思想は教科書を読んでも理解するのは困難であるので、分からない人は質問に来てください。

※進路室と学習室前の廊下に問題の残部が置いてあります。

早い者勝ちです。しっかりと勉強し、合格を勝ち取ろう！

センター試験まであと95日

受験は団体戦